



# 4  
BT  
12.07-01

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

In re Application of:

Takao KOJIMA

Serial No. 09/884,935

Filed: June 21, 2001

For: PREPARING METHOD FOR  
DELIVERY REQUEST RECORDS

)  
) Atty. Docket: **IKEDA 0033**  
)  
) Group Art Unit: 2163  
)  
) Examiner: (Unknown)  
)  
) Date: November 28, 2001  
)  
)

RECEIVED  
DEC 03 2001  
Group 2100

**SUBMISSION OF PRIORITY CLAIM AND PRIORITY DOCUMENT  
IN ACCORDANCE WITH THE REQUIREMENTS OF RULE 55**

Assistant Commissioner for Patents  
Washington, D. C. 20231

Sir:

It is respectfully requested that this application be given the benefit of the foreign filing date under the provisions of 35 U.S.C. 119 of the following, a certified copy of which is submitted herewith:

Application Number

Country of Origin

Date Filed

2000-193663

Japan

June 28, 2000

Respectfully submitted,

GRIFFIN & SZIPL, PC

Joerg-Uwe Szimpl  
Reg. No. 31,799

GRIFFIN & SZIPL, PC  
Suite PH-1  
2300 Ninth Street, South  
Arlington, VA 22204

Telephone: (703) 979-5700  
Facsimile: (703) 979-7429  
Customer No.: 24203



日本国特許庁  
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office

出願年月日

Date of Application:

2000年 6月28日

出願番号

Application Number:

特願2000-193663

出願人

Applicant(s):

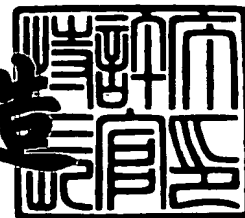
株式会社恒徳産業  
小島 孝夫

RECEIVED  
DEC 03 2001  
Group 2100

2001年 8月 3日

特許庁長官  
Commissioner,  
Japan Patent Office

及川耕造



出証番号 出証特2001-3068591

【書類名】 特許願

【提出日】 平成12年 6月28日

【整理番号】 P00650

【あて先】 特許庁長官

【国際特許分類】 G06F 19/00

【発明者】

    【住所又は居所】 愛知県半田市星崎町 2 - 2 0 6 - 2 サンシャイン星崎 2  
                            0 2

    【氏名】 小島 孝夫

【特許出願人】

    【住所又は居所】 大阪市淀川区西中島 1 丁目 1 1 番 6 号

    【氏名又は名称】 株式会社恒徳産業

    【代表者】 大内 護

【特許出願人】

    【住所又は居所】 愛知県半田市星崎町 2 - 2 0 6 - 2 サンシャイン星崎 2  
                            0 2

    【氏名又は名称】 小島 孝夫

【代理人】

    【識別番号】 100072176

    【弁理士】

    【氏名又は名称】 池田 定夫

【手数料の表示】

    【納付書番号】 99000043438

【提出物件の目録】

    【物件名】 明細書 1

    【物件名】 図面 1

    【物件名】 要約書 1

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 配送依頼レコードの作成方法

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 配送受託主のウェブサーバ・コンピュータは、差出人が通信端末機を介して配送依頼して受け付ける際、適当数の必要及び参考項目を構成した 1 つの依頼レコードを設定し、荷物 I D 項目としてそのシリアルナンバーを自動出力させ、そのシリアルナンバーを知り得た受取人に通信端末機を介してそのナンバーをキーにして該レコードの指定配達場所の項目を書き込ませることを特徴とする、配送依頼レコードの作成方法。

【請求項 2】 差出人により配送依頼レコードに受取人の電子メールアドレスを書き込ませることにより、ウェブサーバ・コンピュータは受取人へ電子メールを送り、少なくとも荷物 I D のシリアルナンバーと自己の U R L を知らせることを特徴とする、請求項 1 に記載の配送依頼レコードの作成方法。

【請求項 3】 配送受託主のウェブサーバ・コンピュータは、受取人が通信端末機を介して配送依頼して受け付ける際、適当数の必要及び参考項目を構成した 1 つの依頼レコードを設定し、荷物の I D 項目としてそのシリアルナンバーを自動出力させ、指定配達場所を書き込ませ、そのシリアルナンバーを知り得た差出人に通信端末機を介してそのナンバーをキーにして該レコードの集荷場所の項目を書き込ませることを特徴とする、配送依頼レコードの作成方法。

【請求項 4】 受取人により配送依頼レコードに差出人の電子メールアドレスを書き込ませることにより、ウェブサーバ・コンピュータは差出人へ電子メールを送り、少なくとも荷物のシリアルナンバーと自己の U R L を知らせることを特徴とする、請求項 3 に記載の配送依頼レコードの作成方法。

【請求項 5】 請求項 1 又は 3 に記載の方法を実施するために使用されることを特徴とする、ウェブサーバ・コンピュータ。

【請求項 6】 請求項 1 又は 3 に記載の方法を実施するために使用されることを特徴とする、配送受託主取次店の通信端末機。

【発明の詳細な説明】

【 0 0 0 1 】

【発明の属する技術分野】

本発明は、配送業務に関し、とくに配送作業の前に行われる配送依頼レコード（伝票）の作成方法に関する。

【0002】

【従来の技術】

配送受託主の支店ないし取次店へ荷物を持ち込み、依頼伝票に受付日、差出人（発送元）の住所、氏名又は名称及び電話番号、受取人の住所、氏名又は名称及び電話番号、商品の内容、さらには配達希望時間帯など記入して、支店ないし取次店が記入漏れがないかを確認して配達料金が請求されている。

あるいは配送受託主が例えば通信販売業者の差出人へ赴き、荷物の集荷と同時に上記項目が記載された依頼伝票を受けて、配達料金はその場で支払われるか又は後払いで、配送作業が行われる。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】

近年ではコンピュータと通信の融合により通信端末機やインターネットを使った業務が注目されるようになった。また携帯電話機が急速に広範囲に普及し、この携帯電話機を通信端末機として使用しウェブサーバ・コンピュータにも接続され、インターネットのホームページにアクセスできる。

とくに電子メールの交換がパソコンだけではなく携帯電話機により行われ、顕著に普及されようとしている。

【0004】

電子メールの交換は、相手の顔など素性は一般に知らないし、またそのような素性を知らなくてもこれを気にせず、互いの関心事が一致すれば気楽に手っ取り早く行われ、その反応も早いことが魅力となって、とくに若い世代に人気がある。

【0005】

この電子メール仲間の中で贈り物など荷物の有体物を送り届けたい場合が生じる。その場合差出人は受取人の電子メールアドレスは知っているが上述のように受取人の住所は一般に知らない。

【 0 0 0 6 】

本発明の目的は、電子メール仲間などで受取人の住所を知らなくても配送できる配送依頼レコードの作成方法を提供することである。

【 0 0 0 7 】

【課題を解決するための手段】

前記した目的は、配送受託主のウェブサーバ・コンピュータは、差出人が通信端末機を介して配送依頼して受け付ける際、適当数の必要及び参考項目を構成した1つの依頼レコードを設定し、荷物のID項目としてそのシリアルナンバーを自動出力させ、そのシリアルナンバーを知り得た受取人に通信端末機を介してそのナンバーをキーにして該レコードの指定配達場所の項目を書き込ませることにより、達成される。

【 0 0 0 8 】

なお、差出人により配送依頼レコードに受取人の電子メールアドレスを書き込ませることにより、ウェブサーバ・コンピュータは受取人へ電子メールを送り、少なくとも荷物のシリアルナンバーと自己のURLを知らせ、受取人にこれらをキーにして該レコードの指定配達場所の項目を書き込ませてもよい。

【 0 0 0 9 】

同様の目的は、配送受託主のウェブサーバ・コンピュータは、受取人が通信端末機を介して配送依頼して受け付ける際、適当数の必要及び参考項目を構成した1つの依頼レコードを設定し、荷物のID項目としてそのシリアルナンバーを自動出力させ、指定配達場所を書き込ませ、そのシリアルナンバーを知り得た差出人に通信端末機を介してそのナンバーをキーにして該レコードの集荷場所の項目を書き込ませることにより、達成される。

【 0 0 1 0 】

なお、受取人により配送依頼レコードに差出人の電子メールアドレスを書き込ませることにより、ウェブサーバ・コンピュータは差出人へ電子メールを送り、少なくとも荷物のシリアルナンバーと自己のURLを知らせ、差出人にこれらをキーにして該レコードの集荷場所の項目を書き込ませてもよい。

【 0 0 1 1 】

## 【作用】

配送受託主の専用ウェブサーバ・コンピュータ（又はプロバイダーのウェブサーバ・コンピュータを利用して）は、差出人又は受取人が通信端末機を介して配送依頼して受け付ける際、適当数の必要及び参考項目を構成した1つの依頼レコードを設定し、荷物のID項目としてそのシリアルナンバーを自動出力させ、配送作業を達成するために少なくとも必要な項目について、該シリアルナンバーをキーにして差出人と受取人の両者がそれぞれの通信端末機を介してデータを書き込んで埋めることにより、配送依頼レコードの作成が行われる。この依頼レコードに基づいて集荷又は／及び配達が行われる。

## 【0012】

## 【発明の実施の形態】

本発明の好適な実施例は、図面に基づいて説明される。

通信端末機は図示しないが専用端末機、パソコン又は携帯電話機でも利用できる。ウェブサーバ・コンピュータも図示しないが、通信端末機より例えばURLを指定してウェブサーバ・コンピュータの或るファイルにアクセスされると、図1に例示するような配送依頼レコード作成の初期画面10が現れる。配送依頼受付10a、レコード書込10b及びキャンセル10cのそれぞれのコマンドボタンが構成されている。

## 【0013】

一般的には公衆電話回線により接続できる、いわゆるインターネット上のホームページが利用され、この場合ウェブサーバ・コンピュータと共にデータベースの付設記憶装置が使われ、ここに依頼レコードファイルが予め作成されている。例えば、ネッтスケープなどのブラウザソフト画面に前記したようにURLを指定すればホームページにアクセスできる。従って、10はホームページの初期画面例としてもよい。

## 【0014】

そこで、配送依頼受付ボタン10aをクリックすると、図2に例示するような画面の一部が、またはレコード書込ボタン10bをクリックすると、図3に例示するような画面が、それぞれ現れる。キャンセルボタン10cは、気が変わって

このシステムの使用を取り消す場合にクリックされ、以下の図面においても同様である。

【 0 0 1 5 】

図 2 は 1 つの依頼レコードの適当数の必要又は参考項目の構成例を示しており、必要によりその一部が画面表示され、その各横側に入力ボックスが構成されるが、荷物 I D 項目についてはウェブサーバ・コンピュータ内部のカウントにより自動出力される。受付日についてもソフトウェアにより自動表示される。

【 0 0 1 6 】

図示された項目の全部について入力ないし書き込む必要はない。また差出人、受取人などアクセスする人によって画面に表示される項目が予め決められている。

集荷場所は必要項目である。荷物 I D 項目のシリアルナンバーは画面の表示と同時に出力する必要はない。集荷場所の必要項目が書き込まれた時点で出力してもよい。差出人が自己の電子メールアドレスを書き込んでおけば、受取人への配達終了後にその報告を受けるサービスを受けられかもしれぬ。電話についても同様であるが、後日何らかの不都合が生じたときの連絡先になる。これらの項目は従って配達作業を達成するための参考項目になったり、必要項目になったりする。

【 0 0 1 7 】

差出人に対し図 2 のうち適当項目について表示され、書き込みを終えれば、終了ボタンを押す。これによりハードコピーが得られ、荷物 I D の他に書き込んだ事項が確認できる。

【 0 0 1 8 】

その後において、差出人が別途電子メール、電話などを使って受取人へ荷物 I D と共に、ホームページを利用したものであれば、その URL を知らせる。知らせを受けた受取人はウェブサーバ・コンピュータ上のホームページにアクセスすると、図 3 に例示するような画面 1 4 が現れる。受取人は荷物 I D の入力欄 1 4 a に知らされたシリアルナンバーを入力し、次いで受取人書込のコマンドボタン 1 4 c を押すと、図 4 に例示するような画面 1 6 が現れ、少なくとも必要項目で

ある配達指定場所を書き込む。終了すると、同様のハードコピーが得られる。

【0019】

差出人が配送依頼の際に又はその後において受取人の電子メールアドレスを書き込めば、ウェブサーバ・コンピュータに受取人へ電子メールを送る機能を加えておき、これによりそのメールに荷物IDが書かれ、URLのリンク先が貼られ、受取人はそのメールを開いた時点で、図3のような画面14にアクセスできて、必要な書き込みが行える。

【0020】

配送依頼に使う端末機が配送受託主の取り次ぎ店のものであるときは、一般的にその場で集荷が行われ、配達料金が請求される。差出人自身の端末機を使う場合は、3通りあり、1つ目は集荷場所ないし住所を書き込んだ後に集荷が行われるが、2つ目は集荷場所ないし住所を書き込み、さらに受取人が配達指定場所を書き込んだ後に集荷が行われる。後者の場合では集荷後直ちに配達できる。

【0021】

3つ目は、差出人が依頼のときに荷物IDだけを確保して、受取人が指定配達場所を書き込んだ後に、このことを差出人へ知らせ、差出人が集荷場所を書き込み、集荷が行われる手順もあり、前記後者の場合と同様に集荷後直ちに配達できる。ウェブサーバ・コンピュータは必要項目の書き込みをウォッチングしており、またいずれの手順を選ぶか予め決めておく。

【0022】

なお、受取人が配送受託主との間で継続的な関係がある場合には、荷物IDのシリアルナンバーと指定配達場所が予め固定的に決められることがある。この場合には荷物IDは受取人から差出人へ知らされる。これにより、差出人が集荷場所を書き込み、集荷が行われ、集荷後直ちに配達できる。

都合により、受取人の方から配送依頼をして新たに荷物IDを得る場合もあり、前記同様のことが行われる。このように、荷物IDの通知は差出人から受取人へ、または逆もあり得る。

【0023】

配達人もウェブサーバ・コンピュータにつながる通信端末機を所持しておれば

、配達可能時にウェブサーバ・コンピュータより荷物 I D の通知を受け、これにより配達先が知られ、配達を終えれば、その旨を同じレコード内の項目に書き込み、次いで差出人へ通知してもよい。集荷人が通信端末機を所持しても同様のことが効率よく行える。図 5 は本発明を利用した配送システムの全体構想図である。

通信販売については、差出人を販売業者に、受取人を顧客又は第三者に置き換えればよく、配送料及び商品代金の回収は従来と同様に差出人払い（元払い）、受取人払い（着払い）又は代金引換により行われる。

#### 【発明の効果】

本発明によれば、配達場所はその受託者だけ知っておればよく、受取人は配達場所、時間を任意に指定でき、差出人の住所も受託者のみ知っておればよい、つまり受取人の住所を知らなくても配送できる配送依頼レコードが作成される。

#### 【図面の簡単な説明】

##### 【図 1】

配送依頼レコード作成の初期画面例示図。

##### 【図 2】

配送依頼レコードの構成例示図。

##### 【図 3】

配送依頼レコードの書き込み案内画面例示図。

##### 【図 4】

受取人の書き込み項目例示図。

##### 【図 5】

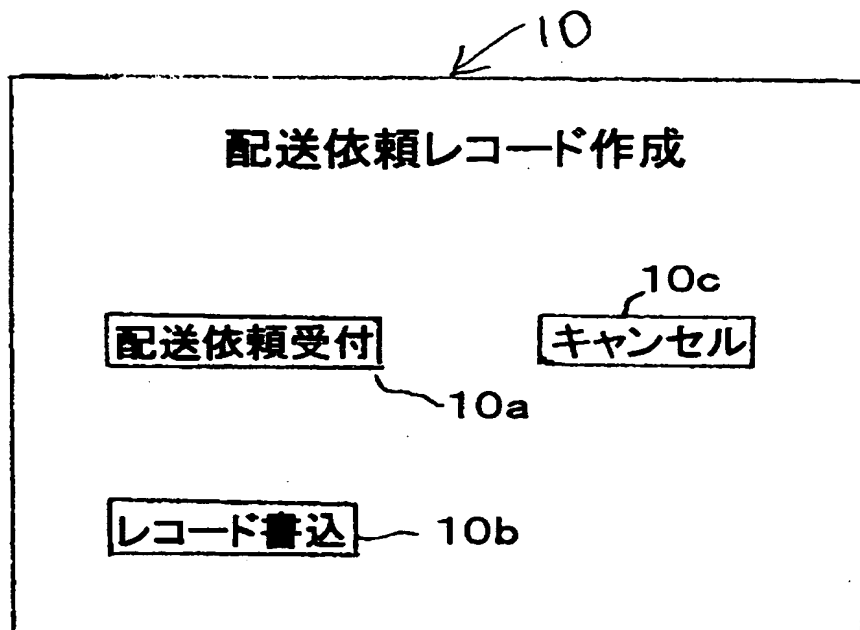
配送システムの全体構想図。

#### 【符号の説明】

1 0	初期画面	1 0 a, 1 0 b, 1 0 c	コマンドボタン
1 2	レコード構成例	1 4	書き込み案内画面
1 4 a	テキストボックス	1 4 b, 1 4 c, 1 4 d	コマンドボタン
1 6	受取人項目例		

【書類名】 図面

【図 1】



【図 2】

荷物ID	AB12345	<b>終了</b>
受付日	07/06/00	
差出人	氏名又は名称 集荷場所又は住所 電子メールアドレス 電話	<b>キャンセル</b>
受取人	氏名又は名称 配達指定場所 電子メールアドレス 電話	
集荷人	ID 集荷日	← 12
配達人	ID 配達日	

【図 3】

14

### 配送依頼レコード書込

荷物ID  ~14a

☐ 差出人書込 ~14b      ☐ キャンセル ~14d

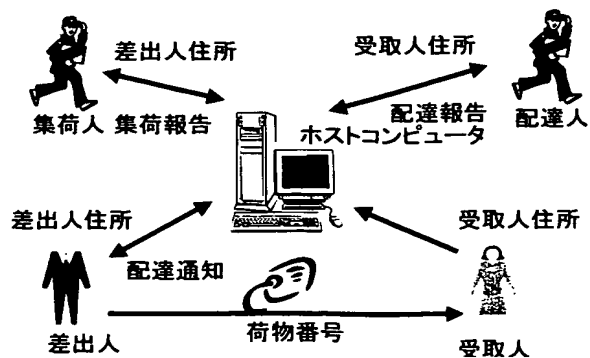
☐ 受取人書込 ~14c

【図 4】

荷物ID 受付日 受取人 氏名又は名称 配達指定場所 電子メールアドレス 電話	AB12345 07/06/00	<input type="button" value="終了"/>  <input type="button" value="キャンセル"/>
--	---------------------	---

←16

【図 5】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 電子メール仲間などで受取人の住所を知らなくても配送できる配送依頼レコードの作成方法を提供すること。

【解決手段】 配送受託主のウェブサーバ・コンピュータは、差出人又は受取人が通信端末機を介して配送依頼して受け付ける際（10 a）、適当数の必要及び参考項目を構成した1つの依頼レコード（12）を設定し、荷物のID項目としてそのシリアルナンバーを自動出力させ、配送作業を達成するために少なくとも必要な項目について、該シリアルナンバーをキーにして差出人と受取人の両者がそれぞれの通信端末機を介してデータを書き込んで（10 b、16）埋めることにより、配送依頼レコードの作成が行われる。この依頼レコードに基づいて集荷又は／及び配達が行われる。

【選択図】 図5

特2000-193663

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [500303951]

1. 変更年月日	2000年 6月28日
[変更理由]	新規登録
住 所	大阪市淀川区西中島1丁目11番6号
氏 名	株式会社恒徳産業

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [500303858]

1. 変更年月日 2000年 6月28日

[変更理由] 新規登録

住 所 愛知県半田市星崎町2-206-2 サンシャイン星崎202

氏 名 小島 孝夫